

例7: 「友だちへのメール」

作文

標準

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	-	-	3	3	-

背景

- 生徒はいろいろな題目で会話体/くだけた形 (informal) の手紙やメールを書くことを学んだ。
- 必要最低字数は300字である。
- 制限時間は45分である。
- メモ、教科書、辞書は持ち込み不可である。
- この課題は基準 C 及び基準 D内で評価してある。

評価

基準C 内容と構成

最高レベル8

この作品がレベル3を得た理由は以下の通りである。

- この課題は下書きも計画もなくテスト条件の下で行われているので、メールの基本構造ができていることは (評価の際) 重要なポイントであると考えられる。
- 根拠のない意見が多い。
- 内容が非常に初歩的で繰り返しが多い。
- 接続詞が使われていない。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 情報をもっと明確に書く。
- 必要最低字数300字を書き、内容をより発展させ説明や理由をもっと増やす。
- 接続詞を用いる。
- より良い構成にするために、一段落以上書く。

基準D 言語

最高レベル8

この作品がレベル3を得た理由は以下の通りである。

- 非常に基本的な語彙しか使っていないが、これは準備なしで辞書もないというテスト条件の下では納得できることである。
- 構成が単純である。
- 誤りがいくつも見られる。話の流れを妨げる誤りもある。
- 読者を意識しているが、言葉遣いが改まっていたりくだけていたり一定していない。
- 漢字やカタカナの数が少ない。

例7: 「友だちへのメール」

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 語彙の種類を増やす。
- もっと多くの文法事項を正しく使う。
- 全体を通してもっとくだけた言葉遣いにする。
- 漢字とカタカナをもっと使う。

生徒回答

Situation: You have a Japanese friend that lives in Queensland. She sometimes comes to the Gold Coast during her school holidays. You want to send her an e-mail asking her to visit you in the next holidays. You must write at least 300 characters.

From : *****@hanmail.net

TO. *****@hotmail.com

げんき、りなちゃん? ☆わたしげんき。ゴールド・コストのうみはとてもうつくしですよ。わたしがっこうとうつくしいですよ。いま、わたしはセント・ヒルズにすんでいます。わたしのともだちはやさしいですよ。～♡食べものはおいしいです。わたしはりちゃんを見ます。つぎのやすみにいきますか。ともだちとえいがおみます。かいものをしますか。～♡わたしはかいものを大好きです。バイバイ～りちゃん～☆

じゃね～♡あなたのBESTともだちから